

令和5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	名称	第1回 全体会	参加者数	59人	会場	伊那市役所およびWeb開催
	日時	令和5年6月9日(金) 13:30 ~ 15:00				
主 テ ー マ	<p>1 協議</p> <p>①令和5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会体制について</p> <p>②各部会から今年度の計画について</p> <p>2 質疑応答</p> <p>3 その他</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 協議</p> <p>①令和5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会体制について 事務局より説明。</p> <p>②各部会から今年度の計画について 各部会より説明。</p> <p>2 質疑応答</p> <p>①昨年度第2回全体会での意見の紹介と回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児のショートステイ先が少なく、ヤングケアラーではないかと思われる事例も耳にする。早急に進めて行って欲しい。 ⇒引き続き検討していく。今年度は、障がい福祉サービス以外の利用できる地域資源などの利用も含めて資源を確認していく。 ・警察官の障がい理解の無さに起因する過剰対応と思われる新聞記事を読んだ。圏域内でも同様の事例があったと聞いている。県の信州あいサポート運動やヘルプマークの普及など、警察へも障がい理解のための働きかけをお願いしたい。 ⇒部会内で他分野との連携を模索しており、司法含めて働きかけを行いたい。 ・小さいころから地域で育ち、障がいの有無に関わらず助け合う関係が自然にできるような、そんな地域づくりをお願いしたい。 <p>②参加者より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児のショートステイ事業所はどのくらいあるのか。早急に取り組みを進めて実現を目指して欲しい。 ⇒圏域内ではほとんどなく、医ケア児は圏域外を利用している。強度行動障害児は特にない。昨年、ファミリーサポート等の聞き取りの中で「こども」という枠で考えている。困っているなら何とかしたい」との声をいただき、上伊那圏域緊急ショートステイ促進事業の改正により対象範囲を拡大した。 ・ショートステイが緊急だけでなく恒常的に使えるよう、具体的な話を進めてもらいたい。 ⇒なかなか実績につながっていないが、引き続き活動を継続していく。 ・グループホーム部会がなくなり、世話人研修会等なくなった。グループホームの横のつながりが欲しい。数も足りないし、地域の偏在もある。 ⇒検討する。 ・“住み慣れた地域で”と言うが、事業所の偏在が大きい。市町村でも検討してもらいたい。 ・緊急ショートステイ促進事業を知ったので今後活用したい。児をタイムケアで2泊3日預かったが、職員3名体制で配置し赤字。者はグループホーム体験で受け入れた。グループホームは空きがあれば泊り対応できる。ショートステイの枠の中だけでなく、拡大して考えて欲しい。制度改正についても市町村担当者レベルへの周知をお願いしたい。 ⇒打っ手がなく、とにかく急がないという状況の中、赤字を承知で受け入れてもらっている現状がある。この事業を活用してもらいたい。 ・強度行動障害児など子どもでも専門性がないと安心して預けられない。前もってどんな子なのか情報渡してもらいたい。 ⇒ヒアリングの中でも同様の意見があった。事前の見学等で安心して利用できるようにしておくことが大事。 ・西駒郷は通過型になっていくということだが、事業団の組織としてショートステイの受け入れ等上伊那への還元も考えていって欲しい。 ・自宅やグループホームで暮らす障がい者が安心して暮らせるよう、あいサポート運動の受講やヘルプマークの周知を進めて欲しい。 ・義務教育終了後に娯楽がなくなる。育成会で行事をおこなったこともある。子どもたちが地域に溶け込むためにお祭り等必要と思う。 ・緊急対応台帳の見直しについて、地域で生活している子どもたちの援助を検討して欲しい。民生委員にも周知をお願いしたい。 ・B型の支援員の育成が追いついていない。そういった部分への取り組み予定あるか。 ⇒今年度、就業支援部会でヒアリング実施予定なので、その中で意見を出していただければ検討していく。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの意見を直接聞くことができた。活動の参考としたい。 ・今年度の活動について圏域内で共有できた。 					
次 回	未定					